

令和7(2025)年度 第26回北信越高校生文芸道場 長野大会要項

1. 名称 令和7(2025)年度第26回高校生文芸道場 北信越ブロック大会(長野大会)
2. 趣旨 高文連北信越ブロック(福井・石川・富山・新潟・長野)の文芸活動を行う高校生が一堂に集い、文学研修を行い、散文・詩・短歌・俳句・文芸部誌の各部門に分かれて、それぞれ創作活動や作品鑑賞を共に行うことを通して、北信越ブロックの高校生との交流を深め、自らの作品創作に資することを図る。
3. 主催 北信越地区高等学校文化連盟
4. 主管 長野県高等学校文化連盟文芸専門部 長野県高等学校文化連盟
5. 後援 (申請予定)長野県教育委員会、中野市、中野市教育委員会、信濃町、信濃町教育委員会、信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、讀賣新聞長野支局、NHK長野放送局、信越放送、長野放送、テレビ信州、長野朝日放送、他
6. 協賛 (予定)公益財団法人日本教育公務員弘済会長野支部
7. 期日 令和7年(2025年) 9月6日(土)～7日(日)
8. 会場 黒姫高原ホテル(旧黒姫ライジングサンホテル)
長野県上水内郡信濃町大字野尻瑞穂 3807-5 電話: 026-255-3211

9. 日程(案) 第1日目 9月6日(土)

- | | |
|-------|---|
| 10:50 | 飯山駅集合 受付 バス出発 (10:32 東京行き新幹線着) |
| 11:15 | 一茶記念館着 昼食 |
| 12:00 | 文学研修開始 一茶記念館見学 |
| 13:10 | 一茶記念館出発 2コースに分かれます
『故郷』から巡るコース(高野辰之記念館→中山晋平記念館)
『シャボン玉』から巡るコース(中山晋平記念館→高野辰之記念館) |
| 17:00 | 黒姫高原ホテル着 開会行事 |
| 17:30 | 会計受付 チェックイン |
| 18:30 | 部誌交換 夕食 |

第2日目 9月7日(日)

- | | |
|-------------|--|
| 7:00～8:30 | 朝食 チェックアウト準備 |
| 8:45～9:00 | 部門別研修会受付 |
| 9:00～11:00 | 部門別研修会 「散文」「詩」「短歌」「俳句」「文芸部誌」の5部門
(原則として希望によって部門に分かれる) |
| 11:15～11:45 | 閉会式 部門別研修報告会・閉会行事・写真撮影 |
| 12:00 | 解散(その後ホテルのバスで黒姫駅などへ移動) |

※ この後オプションとして、ホテルで昼食を摂ったあと、バスに乗車して黒姫童話館を見学し、飯山駅までお送りする企画を追加できます(15:02 飯山発敦賀行き はくたか 565号に乗車可能)。ホテル昼食代1,100円が別途必要です。ご希望の場合は参加申込書に○を付けてください。

10. 参加申し込みについて

- (1)参加は、1泊2日(2食付き)の申し込みを原則とします。

(2)参加申し込みは、学校ごとに行ってください。その際は、以下のようにお願いします。

①参加申込書に必要事項を入力の上、【〇〇県〇〇高校文芸道場申し込み】の名前を付けて、下記担当者にメール添付で送付してください。

②さらに、入力した申込用紙をプリントアウトして、**所属長の公印を押して**、下記担当者までご郵送ください。

※参加申込書のメール送付・郵送 締切 7月4日(金)必着(その後7/20頃までに内容確認・連絡)

(3)参加する高校の文芸部で部誌交換を希望する学校はその旨を参加申込書にご記入ください。

後日、参加高校の数をお知らせしますので、必要部数の部誌をご持参ください。

(4)参加する生徒は、申し込みの際に、必ず参加部門の作品を1つ(散文・詩は一人一編、短歌は2首・俳句は1句)を創作し、ご提出ください。 部誌部門に参加する場合は、作品提出にかわり、部誌1部と部誌の表紙と目次のデータ(jpegで保存したもの)を送ってください。作品集に部誌の表紙と目次を掲載します。送っていた部誌も研修で使用します。なお、部誌を発行していない学校の生徒も参加可能です。

顧問の先生は参加生徒の作品などを、下記作品集担当者Eメールアドレスに添付ファイルで送信してください。**提出する作品についての詳細は別紙を参照してください。(作品送付締切 7月22日(火))**

(5)参加申込書の郵送先、および参加申込書および作品データのEメール送信先は以下の通りです

郵送宛先	〒380-8530 長野県長野市箱清水 3-8-5	長野県長野西高等学校	塚田 好子
Eメール送信先	ytsuka@m.nagano-c.ed.jp (塚田)		

(6)文学研修での乗車バスは、人数の偏りをなくするため、できるだけ各校参加生徒を2つのコースに均等に割り振って申し込んでください。ご事情がある場合はご相談ください。顧問の先生もご希望のコースをお選びください。ただしバスの人数次第ではご希望通りにならない場合がありますのであらかじめご了解願います。

(7)参加については引率者が必要です。生徒のみでの参加は出来ません。

(8)参加生徒及び引率者の必要経費の負担は致しかねます。

11. 参加費用

(1)参加する生徒・引率・視察者は参加費が必要です。宿泊費と保険料は事前に業者宛ご入金願います(予定)。参加費は当日、受付でお支払いください。

参加費……2,000円 宿泊費……9,150円(一泊二食) 保険料……100円

参加費用総額……宿泊者 2,000円+9,150円+100円=11,250円

※ 黒姫童話館オプションツアーにご参加の場合、さらに1,100円が必要です。

問い合わせ

長野県高等学校文化連盟文芸専門部 理事長

長野県飯山高等学校 教諭 小町谷 康

〒389-2253 飯山市飯山 2610 飯山高等学校

Tel 0269-62-4175 Fax 0269-81-1072 (学校代表)

Email komacchi@m.nagano-c.ed.jp

同 事務局

長野県長野西高等学校 教諭 塚田 好子

〒380-8530 長野市箱清水 3-8-5 長野西高等学校

Tel 026-234-2261 Fax 026-237-5506 (学校代表)

Email ytsuka@m.nagano-c.ed.jp

別紙

参加生徒の事前提出作品などについて

提出作品が既定の分量を越えた場合は、作品集のページ数の関係で収録が出来なくなる可能性がありますので、必ず規定内に収めて下さい。フォントMS明朝、10.5ポイントで統一してください。各種書式は参加申込書と同送いたしますのでお使いください。

◎散文部門 1人1編(短篇小说)「北信越歌物語」

下記の短歌から1首を選んで、その短歌に作者のオリジナルの物語をつけた作品を創作して下さい。A4規格・縦書き・**20字×34行×3段**で、作品の最初に、題名、県名、学校名、学年、氏名。最後に選んだ短歌を書いて下さい。A4版で1ページ、2000字以内とします。プリントアウトした状態がA4版で1枚に収まるようにお願いします。

短歌は次の中から選んで下さい。

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| ○ひまわりに「またね」と告げた帰り道「明日もここであえるといいね」 | 渡邊 友栞 |
| ○七月の始まり告げる日課表フウセンカズラの緑あざやか | 西尾 小春 |
| ○寒空に逃げる夕焼け追いかけて薄暮の道を一人帰る日 | 丸山 楓 |
| ○夕闇に鈍く光った洋梨のいびつな影に沈んでいた | 柳 琴葉 |
| ○理不尽な自由を泳ぐ金魚たち未来のために拳を上げろ | 荻原 美久琉 |
| ○ドアノブに掛ける手はまだいじりなし開けてしまえば何でもないのに | 田村 詩乃 |
| ○意味もなくビー玉一つ覗き込む 歪んで映る疲れた心 | 市川 愛絵 |
| ○今は誰とも話したくないからと 背を向けている一本のネジ | 宮内 莉菜 |

◎詩部門 1人1編 課題詩「小石」

A4規格・縦書き・**33字×20行×2段**の書式で1ページ以内。

作品の最初に、題名、県名、学校名、学年、氏名を記入して下さい。

小石を探して、気に入ったものを拾い、小石の姿や手触りから浮かび上がるものを言葉(詩)にしてください。

※プリントアウトした状態がA4版で1枚に収まるようお願いします。

※また大会には、どんな小石なのか様子が分かる写真を当日見せられるよう準備ください。スマホで可。プリントアウト不要。(小石の現物を持参できるひとはお願いします)

◎短歌部門 1人2首(自由題1首 題「文房具」で1首)

A4規格・縦書き・**33字×20行×2段**の書式を使用(1ページ)。

作品の最初に、題名、県名、学校名、学年、氏名を記入して下さい。

鉛筆、消しゴムなどの文房具を歌に詠みこむ

(なお、9月6日の文学研修時に2首を創作してもらいます)

◎俳句部門 1人1句(兼題1句「花野」(秋の季語) ※前書きは禁止)

A4規格・縦書き・**33字×20行×2段**の書式を使用(1ページ)。

作品の最初に、題名、県名、学校名、学年、氏名を記入して下さい。

(なお、9月6日の文学研修時に自由題で2句を創作してもらいます)

◎文芸部誌部門

部誌1部と部誌の表紙と目次のデータ(jpegで保存したもの)を送付。作品集に部誌の表紙と目次を掲載。送付された部誌は研修で使用。なお、部誌を発行していない学校の生徒も参加可能。

部誌は当日も持参(9月6日に交換タイムもあります)。